

準備の手間がなく、場所も取らない
予期せぬ挿管困難にも、すぐに対応できる
新しい DISPOSABLE 気管支鏡
エースコープについて

東京大学医学部附属病院麻酔科手術部

小松 孝美 先生



<はじめに>

東京大学医学部附属病院は高度先進医療を推進し、個々の患者に最適な医療を提供する機関です。年間症例手術数が約 10,000 例、1 日平均 27 件と日本最大級です。高度な症例管理を要求されることが多く、高い質の医療を提供できるよう努力しています。

<臨床用として>

稼動可能な手術室が 23 室に対して、手術部では 25 本の気管支鏡を所有しています。気管支鏡を使用する症例の増加と、気管支鏡の洗浄から準備までの時間が約 2 時間掛かることにより、気管支鏡が不足することがあります。特に同日の午前と午後に手術がある場合、気管支鏡を洗浄し準備を行うための時間を考慮することが必要です。

このような場合、DISPOSABLE 気管支鏡 エースコープをバックアップとして持っている、いつでも使用でき、非常に便利です。

気管支鏡は初期投資費用や修理費が高額です。初期導入費用の安価なエースコープをバックアップとして持っている、気管支鏡の必要な症例に電源ボタンひとつで、すぐに使用することが可能です。

近年院内感染予防に対する意識も高く、スコープは DISPOSABLE のため交差感染の恐れがある場合にも有用です。

<教育用として>

挿管困難症例でファイバ挿管を成功させるには、常日頃から適切な指導の元、気管支鏡の使用とその視野に慣れ親しむ事が重要です。

しかし、トレーニングの機会や機器があまりないため、必ずしも手技に熟達しているわけではありません。トレーニングに使用した気管支鏡が破損し、高額な修理費が掛かることもあります。そこで、エースコープは挿管困難の練習用として、複数人で視界を共有でき、通常気管支鏡と同様に使用できるため挿管困難のトレーニング用としても有用です。



エースコープ 画像

■通常の気管支鏡とエースコープの操作性を挿管人形で比較

【対象】

麻酔指導医 6 名、気管支鏡による挿管手技を経験した後期研修医 6 名

【方法】

挿管困難モデルは気道挿管練習モデル人形にフィラデルフィアネックカラーを付けて頸椎固定し作成した。

気管支鏡（外径 6 mm）とエースコープをモニターを通して観察し、挿管までの時間を計測し、使用感を 5 段階で評価。

【結果】

指導医では気管支鏡とエースコープで時間に有意差がなく、共に 2 分以内であった（エースコープ群：0.6 ± 0.7 分、気管支鏡群：0.5 ± 0.8 分）。

使用感もどちらもほぼ満点評価で有意差はなかった（エースコープ群：4.2/5 点、気管支鏡群：4.5/5 点）。

後期研修医群でも時間に有意差はなかった（エースコープ群：3.5 ± 4.2 分、気管支鏡群：3.2 分 ± 3.8 分）。

【結論】

通常の気管支鏡と比較すると、エースコープは同様に使用できる。

（2011 年 日本麻酔科学会第 58 回学術集会「新しいディスプレイザブル気管支鏡-エースコープ™-の挿管困難対応症例での比較検討」より抜粋）

<まとめ>

挿管困難症例では気管支鏡の確保・準備など多くの問題が起こりえます。エースコープはそのような予期せぬ困難気道症例にも迅速に対応ができ、今後、多くの施設でも積極的に挿管困難のトレーニングをする機器としても有用であると思われます。



【販売名】 エースコープ

【認証番号】 222ADBZX00066000

【販売名】 エースコープビデオ画像プロセッサ

【届出番号】 13B1X00074000047